

研修履歴

育生さん

2012.03. 北海道担い手センターからの紹介で
むかわ町を訪問
05. 短期農業体験（3泊4日）
その後も休暇を利用して、1泊2日の
農業体験を行う（4回程度）

2013.04. 長期農業体験（6ヶ月）
10. 鶴川研修農場で実践研修

2015.11. 独立就農（就農時43歳）

美恵子さん

2014.04. パートで農作業を体験（1年7カ月）

2015.11. 独立就農（就農時41歳）

あへ いくお
阿部 育生さん



「暖房を使わずに年間を通して
農業が出来るのがいいなと。」

経営規模

農地 1.5ha
施設 ビニールハウス 100坪×8棟
作物 トマト・春レタス
農業従事者 本人、妻（美恵子さん）

住宅

中古の農家住宅（一軒家）を賃貸
圃場から約1km



就農前は生まれ育った札幌市で営業職に就いていた阿部育生さん。40歳になる頃に今後の人生を考え、会社勤めで終わりにたくないと思い、新規就農の情報を集め出したのが今から4年ほど前のこと。

■第二の人生を農業に掛けようという意気込みは相当なものだと思うのですが、もともと農業に興味を抱き始めたきっかけは何だったのでしょうか。

育生さん「趣味で家庭菜園をしていて、野菜づくりをしていたんだけど、もともと小学生の頃から植物を育てるのも好きだったんだよね。サボテンを育てたり、学校の田植え体験のときに苗を少しもらって自宅で育ててみたり。」

■美恵子さんは神奈川県横須賀市ご出身ということで、農業とは縁のない環境かと思いますが、農業で生計を立てていくという育生さんの計画を聞いたときには、すんなりと受け入れること

が出来たのでしょうか。

美恵子さん「全然抵抗なく、賛成でした。大学時代に十勝で農業アルバイトをしていて、あずき積みやビートの山づくり、カボチャの種まき等々何度か経験していたこともあって、農業には親しみがあつた。」

美恵子さんの賛成もあり、事は進み、北海道担い手育成センターで相談をした際にむかわ町での新規就農制度を知った。

■他の市町村でも新規就農に力を入れていますが、むかわ町を選んだ決め手は何だったのでしょうか。

育生さん「話を聞きにむかわ町へ実際に行って、町や圃場案内してもらったときに、（むかわ町新規就農第一人者）小笠原さんのビニールハウス内で見れたレタスが印象的でした。まだ寒い時期だったんだけど、暖房を使わずに年間を通して農業が出来るのがいいなと。他にも、受入体制もしっかりしている実績もある、研修農場がある、というのがよかったです。」

美恵子さん「むかわ町の人たちが町の印象もよかったです。」

実際に3泊4日の農業体験を行い、その後も仕事の休日を利用して、数回の短期体験を行った育生さん。



主にレタスの収穫やトマトの鉢上げ作業に徹し、この体験中にむかわ町の独立就農を決断をした。

平成25年、会社を退職と同日に、美恵子さんと当時生まれて2ヶ月の颯太郎くんの3人でむかわ町へお引っ越し。

■独立就農されて約6カ月が経とうとしています。今の心境は。

育生さん「実践研修中は、先輩方が代々、設備や作物を作り上げてきた前例のある環境での作業だったけど、今は新しい土地の特徴を掴むために試行錯誤の毎日。設備もイチから整えなければいけない中で、レタスの定植もしての同時進行が思っていた以上に大変だった。予想外の出来事が多いながらも、楽しく満足した毎日を送っています。」

■新規就農を考えている方へのメッセージをお願いします。

育生さん「むかわ町の農家さんの新規就農者を受け入れる器の広さを強く感じる。就農地の誘致もしてもらったり、実際に就農した後も気にしてくれたり、むかわ町は新規就農者にも協力的な町です。」

